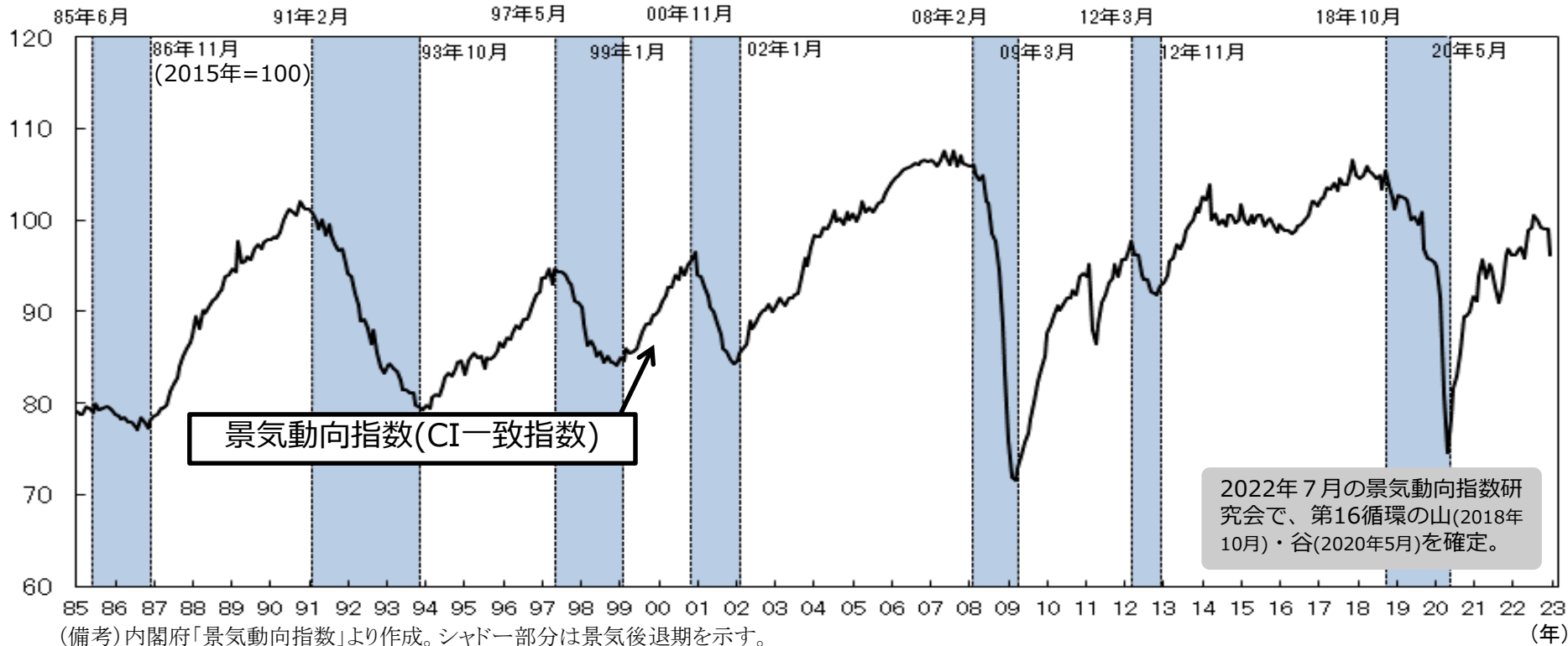


3.景気統計

景気基準日付（景気の山・谷）

景気動向指数（CI）の構成指標の動き等をもとに、景気動向指数研究会（座長：吉川洋 東京大学名誉教授）での議論を踏まえて、経済社会総合研究所長が、景気の山・谷を設定。



海外では景気の山・谷はどこが決められている？

米国では、NBER(全米経済研究所)が、専門家で構成される委員会の議論を踏まえて、景気の山・谷を判定。

景気動向指数とは？

- ・景気の現状把握等のため、景気に敏感に反応する指標を選択・合成した指数。毎月作成・公表。
- ・景気動向指数でみた基調判断も毎月公表。あらかじめ決められた基準に機械的に当てはめて判定。
（「改善」「足踏み」「局面変化」「悪化」「下げ止まり」の5段階で表現）

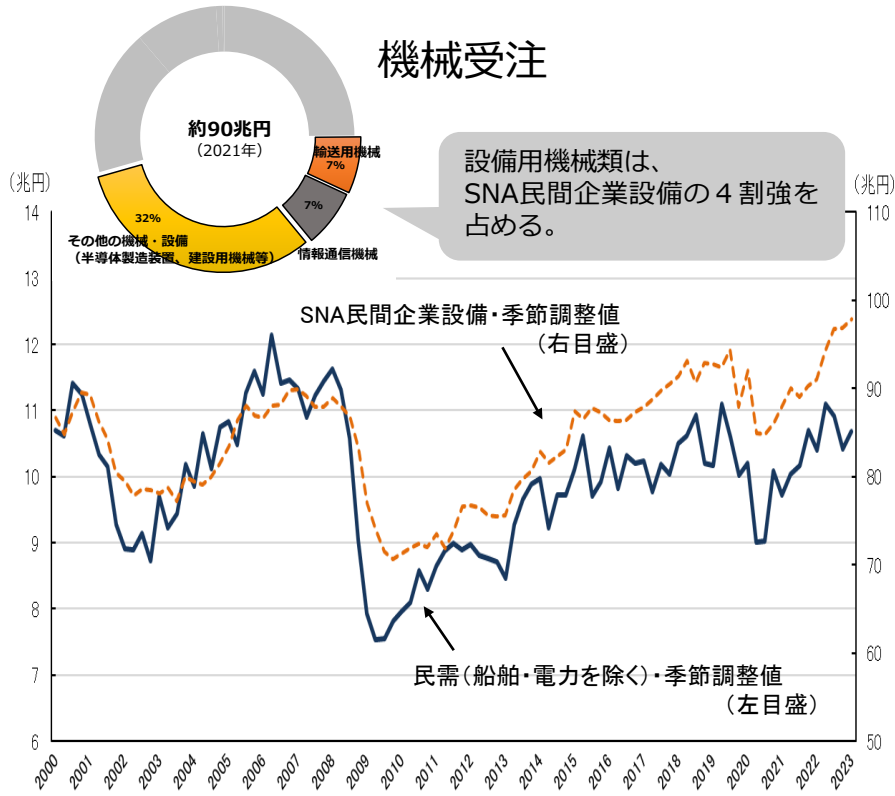
景気動向の早期把握

＜機械受注統計調査＞

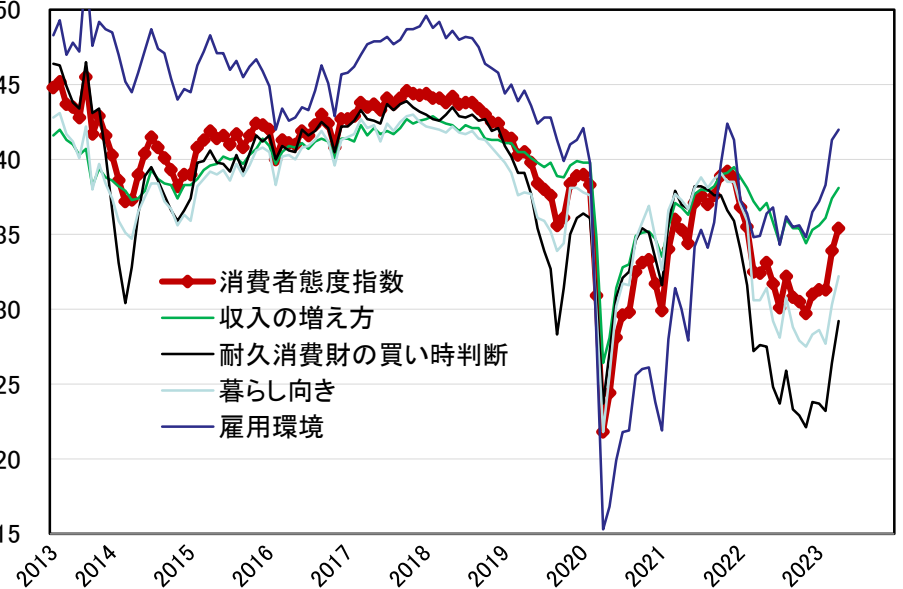
設備投資動向の早期把握のため、民間企業による設備用機械類の受注実績を毎月調査・公表。「船舶・電力除く民需」は民間設備投資の先行指標とされている。

＜消費動向調査＞

消費者マインドや予想物価上昇率を把握するため、全国より抽出した世帯に対し毎月調査・公表。



消費者態度指数と主な構成指標



(備考) 上図は内閣府「2021年度(令和3)年度国民経済計算年次推計」より作成。
 下図は内閣府「2023年1-3月期四半期別GDP速報(1次速報値)」及び「機械受注統計調査」より作成(いずれも名目年率換算値。民需(船舶・電力を除く)は公表値である四半期値を4倍している)。

(備考) 内閣府「消費動向調査」より作成。

消費者が予想する1年後の物価の見通し

